

○今月より防災に関する記事を連載します。みんなで防災への意識を高めましょう!

正しい知識を持って、正しく避難しよう!



近年、温暖化などの影響により、台風や大雨により土砂災害や河川の氾濫による災害が日本各地で多くなっています。そんな中、風水害時の避難情報の発表のされ方が、令和元年6月より5段階に整理されました。

町では、避難勧告発令は、防災行政無線・ホームページ・メール配信（登録者）・テレビ放送などでお知らせしています。
★防災行政無線の放送内容は、☎69・1890で確認することができます。

避難勧告などを発令する場合、土砂災害警戒区域は、町内68区域あることから、発令区域として、「真鶴地区」と「岩地区」に発令します。この場合、テレビなどでは「真鶴町の全世帯に避難勧告発令」という報道がされますが、必ず全ての人が避難する必要はなく、土砂災害の危険のある場所にお住まいの人など危険を感じる人が避難する必要があります。マンションなどの堅牢な建物にお住まいの人や、土砂災害の危険区域以外にお住まいの人は、必ずしも避難する必要はありません。
 普段から避難場所や土砂災害の危険個所を確認して、もしもの時は速やかに避難できるように備えておきましょう。

※町では、今年度までに土砂災害ハザードマップを作成し、全戸配布する予定です。また、土砂災害の危険区域は、神奈川県ホームページでも確認できます。

大雨の警戒レベルの目的・概要

警戒レベル	住民がとるべき行動	避難情報など
警戒レベル5	【命を守る行動】 既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生情報 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令（町が発令）
警戒レベル4	【全員避難】 速やかに避難所へ避難しましょう。公的な避難所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難指示（緊急） 地域の状況に応じて緊急的または重ねて避難を促す場合などに発令（町が発令） 避難勧告
警戒レベル3	【高齢者などは避難】 避難に時間を要する人（高齢の人、障がいのある人、乳幼児など）とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者など避難開始 （町が発令）
警戒レベル2	【避難方法確認】 避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報など （気象庁が発表）
警戒レベル1	【気象情報注意】 災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 （気象庁が発表）

指定緊急避難場所(町指定)

まなづる小学校グラウンド
真鶴中学校グラウンド
ひなづる幼稚園園庭
岩ふれあい館グラウンド
町民センター



指定緊急避難場所...
切迫した災害の危険から命を守るために避難する場所として町が指定した場所

指定避難所(町指定)

まなづる小学校体育館
真鶴中学校体育館
ひなづる幼稚園園舎
岩ふれあい館体育館

指定避難所...

地震による家屋の倒壊や地震火災による家屋の消失により生活の場を失った住民が、一定期間避難生活を行うための施設